

特別支援教育に関する実態・意識調査（教育職員用）

担当教科[]（2年学級担任・担任以外）

このアンケートは、県内の高等学校の特別支援教育を推進させるために、各高等学校での特別支援教育の取組の現状や課題についてお聞きするものです。

1. 授業を担当するクラスの中に、発達障害の診断のある生徒はいますか？
当てはまるものに☑を入れてください。

☐ いる ☐ いない

2. 授業を担当するクラスの中に、発達障害の診断はないが発達障害の特性のありそうな生徒はいますか？
当てはまるものに☑を入れてください。

☐ いる ☐ いない

*以下、発達障害の診断のある生徒及びその特性のありそうな生徒を【特別な配慮を要する生徒】とする。

*1. と 2. の両方とも、「いない」にチェックされた方は、4. に進んで下さい。

3. それらの【特別な配慮を要する生徒】の様子で気になることは、どんなところですか？①から⑫の具体的な生徒の様子を参考にして、当てはまると思われる項目のすべてに☑を入れてください。

チェック	項 目	具体的な生徒の様子
☐	① 書く	・板書を授業時間内に書き写すことができない。 ・習った漢字を正しく書くことができない。
☐	② 聞く	・指示をしたときに、指示した通りに行動ができない。 ・教師の指示や質問に対しての聞き返しが多い。
☐	③ 読む	・教科書の文章をすらすら読むことができない。 ・教科書の文章の中で、読めない漢字や読み間違える漢字がある。
☐	④ 話す	・話している途中で、言葉が思い浮かばなかったり、まとまらなかったりして、言葉につまる。 ・頭の中で自分の考えをまとめてから発表できない。
☐	⑤ 注意・集中	・気が散りやすい。 ・忘れ物が多い。
☐	⑥ 友達とのかかわり方	・友達とトラブルが多い。 ・自分の言いたいことだけを話し、友達との会話が続かない。
☐	⑦ コミュニケーションの質	・皮肉や冗談といった言葉の裏の意味が分かりにくい。 ・しぐさや表情で感情表現することができない。
☐	⑧ 衝動性	・教師が話している途中で、質問したり発言したりする。 ・感情の起伏を抑えきれずに、興奮しやすい。
☐	⑨ 社会性	・暗黙のルールが分からない。 ・友達の輪に入らずに、一人でいることが多い。
☐	⑩ 器用さ	・学習や実習に必要な道具をスムーズに使うことができない。 ・バランス感覚が悪い。
☐	⑪ 課題の提出	・期限内に提出できない。 ・課題を完璧に済ませないと落ち着かない。
☐	⑫ 物の管理	・プリント類をなくす。 ・忘れ物が多い。

*裏へ続く

4. 先生が【特別な配慮を要する生徒】を含む生徒全体に対して、現在実施されている支援、また、今後実施できそうな支援、現在必要性を感じていない支援について、当てはまるものに☑を入れてください。				
	質 問 事 項	現在実施している支援	今後実施できそうな支援	今は必要性を感じていない支援
1	ノートに書き写す量を減らすなど調節をする。	☐	☐	☐
2	黒板やワークシートでは、要点やキーワードなどに印をつけて提示する。	☐	☐	☐
3	ノートのマス目や罫線の幅などは、生徒が希望するものを選ばせる。	☐	☐	☐
4	字を書いたり、計算したりするときに、マス目のあるノートや用紙を使用する。	☐	☐	☐
5	作文や小論文を書くときには、写真などの視覚的な手掛かりを用意する。	☐	☐	☐
6	話をするときには、具体的に話す。	☐	☐	☐
7	短い言葉で要点を伝えてから、全体の話をする。	☐	☐	☐
8	話をするときには、ゆっくり話す。	☐	☐	☐
9	話をするときには、はっきりと話す。	☐	☐	☐
10	話をするときには、繰り返して話す。	☐	☐	☐
11	話の内容を理解しやすくするために、話に関係のある写真などの視覚的な手掛かりを用意する。	☐	☐	☐
12	話の内容や重要なポイントが理解できているかどうか、適宜確認する。	☐	☐	☐
13	発表の時には、事前に発表内容を提示し原稿を書いておいてから発表させるようにする。	☐	☐	☐
14	ペアやグループ学習などの時間を設ける。	☐	☐	☐
15	グループ学習が進みやすいように、グループ編成を行う。	☐	☐	☐
16	生徒が話そうとしていることを適切な言葉で言い換えたり、補ったりする。	☐	☐	☐
17	生徒の話をじっくりと聞き、生徒が話した内容についてそのポイントを整理して本人に確認する。	☐	☐	☐
18	生徒が答えやすいように、いくつかの選択肢を示したり、実物や写真や絵などを用意したりする。	☐	☐	☐
19	生徒が話しやすいように、「いつ」「だれが」「どこで」「どうした」という言葉を提示し、それに合わせて話をさせる。	☐	☐	☐
20	教科書の文章を読む時間を長く確保する。	☐	☐	☐
21	事前に音読することを伝え、家で練習できるようにする。	☐	☐	☐
22	漢字にふりがなをつける。	☐	☐	☐
23	テストの問題や課題の量を生徒に合わせて調節する。	☐	☐	☐
24	読み間違いやすい漢字や書き間違いやすい漢字に気を付けて、テストの問題を解くように声掛けをする。	☐	☐	☐

	質 問 事 項	現在実施して いる支援	今後実施でき そうな支援	今は必要性を 感じていない 支援
25	文章の大事なところを理解しやすいように、写真などの視覚的な手掛かりを用意する。	☐	☐	☐
26	目盛りが読み取りやすい定規を準備する。	☐	☐	☐
27	テストの時間は状況に応じて調整する。	☐	☐	☐
28	テストで問題を解く際には、分かる問題を先に解くなどの取り組み方について教える。	☐	☐	☐
29	座席の位置に配慮する。	☐	☐	☐
30	見やすいチョークの色で板書する。	☐	☐	☐
31	生徒が見やすいように表やグラフ、図などを工夫する。	☐	☐	☐
32	レーザーポインターや指示棒を利用して、黒板に注意を向けやすいようにする。	☐	☐	☐
33	教室前面の掲示物を減らす。	☐	☐	☐
34	生徒と一緒に、個別に課題やテスト勉強の計画を立てる。	☐	☐	☐
35	生徒がテスト勉強や課題提出のために計画的に取り組むことができているか声をかける。	☐	☐	☐
36	課題提出のために十分な時間を与える。	☐	☐	☐
37	学習プリントを整理するための箱やファイルケース等を用意する。	☐	☐	☐
38	次の日の学習に必要な道具について、メモ帳などにメモをするように声を掛ける。	☐	☐	☐
39	実習や実験での活動は、活動を小まぎれに区切りながら取り組ませる。	☐	☐	☐
40	クラス全体への指示や説明は、【特別な配慮を要する生徒】の近くで行う。	☐	☐	☐
41	事前に最後まで人の話を聞くなどの学習のルールを伝える。	☐	☐	☐
42	学習のルールが守れたり、望ましい行動がとれたりしたときに褒める。	☐	☐	☐

*裏へ続く。

5. 先生が、高等学校において、効果的な支援をするために必要だと思われることを、下の項目の中から3つまで選んで☑を入れてください。

チェック	項 目
☐	① 専門性を高める研修（例：聞き違いが多い生徒への具体的な支援方法の研修など）
☐	② 管理職の理解
☐	③ 教育職員間の共通理解
☐	④ 教育職員の加配
☐	⑤ 生徒を個別支援する時間の確保
☐	⑥ 他機関（医療・福祉）との連携
☐	⑦ 特別支援教育コーディネーターとの連携
☐	⑧ 中学校からの情報の引継
☐	⑨ その他（ ）

6. 高等学校において特別支援教育を充実させることは、高等学校の重要な課題だと思いますか？

☐ 思う ☐ どちらかというと思う ☐ どちらかというと思わない ☐ 思わない

＊ ご協力ありがとうございました。